

1,学問と大学

中世ヨーロッパ文化 キリスト教の強い影響

()1❖a(340?~419?)のラテン語訳聖書=『ウルガタ』(標準ラテン語訳聖書)

❖a---アドリア海沿岸(ダルマチア)の生まれ。ギリシャ語を学び新・旧約聖書をラテン語に訳す。

→()2語が聖職者・知識人の共通語

教父()3❖b(354~430)の影響←古代末期、キリスト教とプラトンを結びつけた

❖b---北アフリカ生まれ。放縦な生活の後キリスト教に入信。人間の自由意志を無力なものと捉える。著書「告白」「神の国」「三位一体論」

中世の文化---全ヨーロッパ共通の性格

中世の学問---神学中心=教会や修道院の付属学校=スコラ

→()4学とよばれる神学・哲学の体系

初期の神学 カール大帝時代の()5❖c(735?~804)ら

❖c---英ヨーク出身。カール大帝の相談役、司教、修道院長。カロリング・ルネッサンスの代表者。

イベリア半島(トレドなど)やシチリア島で()6の学問=イブン・ルシュドなど=から

→アリストテレスなどの合理的、実証的な学問をラテン語に翻訳⇒12世紀ルネッサンス

→観念的なスコラ学への反省

普遍論争---スコラ学最大の論争

アンセルムス❖dの()7論---眼前の個物のばらより先に、神が創造した「ばら」という普遍的なもの
が実在する

アラベール❖eらの()8論---存在するものはすべて個物であり、「ばら」という名前は記号にすぎない

❖d---イタリア北部出身。(1033~1109) クリュニー会。神の存在を理性で捉えようとした。カンタベリー大主教。

❖e---フランス西部生まれ。(1079~1142) パリノートルダム大聖堂の神学教師。普遍論争で異端とされる。

13世紀のトマス=()9❖f(1225?~74)=ドミニコ修道会士による集大成

アリストテレス哲学をふまえた神学の再構築→「神学大全」

❖f---南イタリア出身。ケルン、パリで学ぶ。「命題集」「注解」を大系的に整理。实在論。

唯名論→フランチェスコ会士ドゥンス=()10❖g(1266?~1308)やオッカム(1290?~1348?)が継承

人間は直観によって個物を認識できると考え、信仰と()11の分離を唱える。

→科学的思考の基捷としての()12論に道を開く⇒ロジャー=ベーコン❖h(1214~1294)

❖g---スコットランド出身。オックスフォード、パリで学ぶ。存在は個物。「神への愛」を説く。

❖h---イギリスの司祭、哲学者。イスラム科学の影響下で実験観察を重視。近代科学の先駆者。

[大学]

教皇や国王の特許状によって設立された一種のギルド。教授と学生の自治的な団体

学生はどここの大学でも学べた→有名な大学には諸国の学生が集まる

()13=哲学・法学・医学の3学部

ほかに一般教養科目として7自由学科(文法・修辞・弁証法・算術・幾何・天文・音楽)

()14大学(1088年)---ヨーロッパ最古の総合大学。法学部など。

ダンテ、ガリレオ、コペルニクスたちが学ぶ。

()15大学(11世紀)---ボローニャにつぐ古い歴史。ヨーロッパ最古の医学大学。南イタリア。

()16大学(11世紀)---英語圏最古の大学。神学部。

()17大学(1211年)---神学、教会法、医学と学芸部。司祭ソルボンが1257年神学生寮設置。

()18大学(1218年)---スペイン最古の大学。レオン王国時代から。

()19大学(1224年)---イタリア中部。神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世による。法学、修辞学。

()20・カレル大学(1348年)---ドイツ語圏最古の大学。神聖ローマ皇帝カール4世(位1355~78)

=ボヘミア王カレル1世(位1346~78)による創建。

2,文学と美術

中世の文学

古くから伝承された英雄叙事詩と国王などの宮廷で歌われた騎士道物語とが結合

ドイツ ---古ゲルマンの英雄叙事詩にもとづく『()21の歌』(13世紀初頭)

英雄ジークフリートの死と妻クリームヒルトの復讐の物語。

フランス ---カール大帝の後ウマイヤ朝遠征を題材にした『()22の歌』(11世紀)

シャルルマーニュの甥ローランを讃えるフランス最古の叙事詩。

イギリス ---ケルトの伝説的英雄を主題にした『()23王物語』(12世紀)

「円卓の騎士」「聖杯伝説」など。サクソン人と戦うブリトン人の物語。

宮廷---南フランスの()24=吟遊詩人が、自作の恋愛詩・抒情詩を歌う

中世の美術 ⇒ 教会建築 それを飾る絵画・彫刻

初期(4世紀~)()25様式---ドーム 壁画---()26

11世紀 ()27様式---半円アーチを多様。壁画装飾と小窓。

→ピサの大聖堂(建設1068~)、ヴォルムス(独・11世紀~1181)の大聖堂

12~3世紀 ()28様式---高い尖塔アーチと細長い窓

→()29の装飾

→パリのノートルダム大聖堂(建設1163~1225)、アミアン、シャルトルの大聖堂、ドイツのケルン大聖堂=(建設1248年~1[]80年)



アンセルムス



アラベール



アクィナス



スコトゥス



ボローニャ大学の紋章



大聖堂()



ノートルダム寺院(パリ)

- ・実在 ・理性 ・神学 ・唯名 ・経験 ・パリ ・プラハ ・ナポリ ・スコラ ・ラテン ・アーサー
- ・ローラン ・ビザンツ ・イスラム ・サレルノ ・ゴシック ・モザイク ・ボローニャ ・アクィナス
- ・アルクイン ・スコトゥス ・サラマンカ ・ロマネスク ・ヒエロニムス ・ステンドグラス
- ・オックスフォード ・トゥルバドゥール ・ニーベルンゲン ・アウグスティヌス